

ライチ便り No. 28

～福岡広州ライチ倶楽部会報 2015年6月号～

<http://lychee-club.jp/>

梅雨の季節。今年は少し冷夏傾向だそうで変に肌寒かったり、陽がさすと急に暑くなったりと、過ごしにくい日々です。どうぞご自愛のほど！

今回のライチ便りはお二人のかたに寄稿をお願いしました。どうぞお楽しみください。

劇団道化・広州での公演 ～ 劇団道化 野村勇作氏寄稿

いつもご支援・ご声援ありがとうございます。初めての方は初めまして。2014年11月29日から12月7日、劇団道化は中国広州市にて、小学校・幼稚園・少年宮・ショッピングモール等計6ヶ所にて、中国語公演9回・日本語公演3回の計12公演を行いました。

演目は『3びきのコブタ』。私、野村はオオカミ役に扮し、延べ3000人近い観客の前で悪役を演じ、その都度しばしば火を着けられ、追い払われて来た訳です。



オオカミ(私)

コブタを守るため、子どもたちはオオカミに対して、行く手を阻んだり、尻尾を全力で引っ張ります。更には少女にビンタされたこともあります。もちろん、あとでちゃんと謝りに来ました。それぐらい中国の子どもたちは物語の世界に入り込みます。

中盤、コブタが家を建ててオオカミから隠れるシーン。その度、オオカミは近くにやって来て子どもたちに問いかけます。「どこへ行った？」と。すると…

「あっち！」



答えちゃいます。どっちの味方やねんと言いたくなります。この辺は、日本の子どもたちも同じような反応です。文化は違うのに、同じ場面で同じように笑ったり叫んだりします。面白いなあって思います。

しかし先生は手強いです。女性の先生の背後にコブタが隠れるので、オオカミが先生を口説いて、コブタの居場所を教えてもらうシーンがあります。大方の先生は、甘いギターをポロン♪と聴かせ、「いつも綺麗だ」と褒め倒せば教えてくれます。でも中には「私そんなに軽くないわ」と言わんばかりに、嘘を教える先生もいます。そんな大人とのやり取りも楽しかったりします。

他にも、さそりのスープが意外と美味しかったとか、言い出せばキリが無いのですが、今日はこの辺で。次の冬も、広州に行きます。その時もまた、温かく劇団道化を見守ってください。よろしくお願いします。

福岡国際関係団体連絡会(FUKU-NET)に入会しました ～吉川恵さん寄稿

福岡国際関係団体連絡会(FUKU-NET)とは、福岡地域で国際交流や国際協力などの活動を行う団体が、相互の連携と情報交換により、地域の国際化を推進するためのネットワークです。我が福岡広州ライチ倶楽部もさる4月27日に行われた2015年総会において入会を承認され、活動に参加することとなりました。

参加団体の総数は70あまり、活動内容も多岐にわたりますが、同日の情報交換カフェでは早速、他の国際関係団体の皆様とさまざまな問題を協議し、とても有意義な交流を行うことができました。どの団体も会員不足・後継者不足が悩みの種ですが、今後は互いにアイデアを交換し、良い方向を見出せるものと信じています。



前列右2は今年度 FUK-NET 会長野口さん

前列左2は千葉当倶楽部事務局長、左1が筆者

本会に加わることにより、ライチ倶楽部の活動を、福岡よかトピア国際交流財団が発行するメールマガジン「福岡レインボーマガジン」へ掲載することが可能になりました。またレインボープラザや福岡学生交流会館の会議室を利用することもできます。これらの特典を上手に利用し、福岡広州ライチ倶楽部の益々の発展を目指したいと考えています。

FUKU-NET では年に 6 回程度の連絡会や一般公開講座が行われています。6 月 25 日の第 154 回一般公開講座「留学生から見るイスラム文化～多様な価値観を認め合うために～」には事務局員の吉川が参加しました。イスラム文化圏の留学生達のディスカッションは政治的、また文化的、宗教的にも非常に興味深く、貴重な時を過ごすことができました。これらの活動にはライチ倶楽部の会員であればどなたでも参加できます。どうぞお気軽にお問合せください。

-
- * 当倶楽部のHPとブログを開設しました。標記のアドレスに是非アクセスして下さい。
 - * 未納の方は、今年度会費の振込をお願いします。個人：5000 円 団体：一口 10000 円です。
 - * 会報を送付するのは電子メールが便利です。メールアドレスをお持ちの方は是非お知らせください。 連絡先：y-chiba.naga@hb.tpl.jp または y-chiba@lychee-club.jp